

文学博士 汲古書院  
的研究——  
対する授業

日本漢字音の研究  
は、中国の音韻史や  
刊本等であつた。一  
ままの筆跡が現存し  
日本漢字音を表記し  
しているが、そのな  
つて、閲覧が容易で  
極く稀であつた。汲  
古書院など、古書の發  
見に関する新資料を登  
載する論考を、本書「  
研究」がある。本書「  
研究」——（汲古書院）



中で最も夙い時期  
等の資料群について

この他、「宋音・

法」(一五六八—二

分韻表の提示を行

の「ホフ」が、無音

の形の促音に転ず

って、一一世紀か

以上、本書の主

及び梵字音資料と

これによって、日

献によって具体的

役割を果たしたこと

紐分韻表を作成し

は、今後の漢字音

尚、江戸時代の

においては、古代

の誤が指摘される

代の字音の用例を